

米国とポーランドの霊的能力者が視た輝く日本の近未来 担当石田 2025 年 8 月 30 日

シンディー・ジェイコブスの予言：米国新使徒改革運動、祈りの戦士 74 歳。ベルリンの壁崩壊、ドイツ統一、ソビエト連邦崩壊を予言。驚くべき予言は日本の新指導者。

これまでの指導者とは全く違うタイプ。政治的背景ではなく霊的な深みから選ばれる。一見平凡に見えるが、日本の長年の痛みと希望がこめられ、最大の特徴はその知恵である。日本内部に育ってきた改革勢力（HS?）と連携する。改革は予想以上に早く進展する。

卓越した外交的知恵を発揮して、突如として平和と和解の象徴となる。霊的波動が周辺国に伝播し、驚くべき変化：朝鮮半島の歴史的な過ち憎しみに対する霊的な裁き（地震、津波）が起こり、中国では別の形の裁き（経済的崩壊、人口減少、民主化運動）が起きる。

東アジア全体が再生、その中で日本は霊的中心。アジアの霊的ルネッサンスと呼ばれる。

日本から始まった若い癒しの波が世界的なトラウマを解消し始める。2030年代になると、世界の5大国として浮上する。新産業革命を起こり中心には霊的リーダーシップが存在。

ネビンスキーの予言：2025 年 8 月 23 日、ポーランドの精神病院から 45 年間監禁されていた一人の男性が解放された。エドワード・ソロモン・ネビンスキー、87 歳。彼の第一声「日本の時が来た。全ては終戦記念の月（8月）に始まる。」が世界を震撼させる。

ネビンスキーの履歴：1979 年ワルシャワ大学の教壇（哲学の教授）で倒れる。「東方の島国、分断された魂、人類最後の希望だ。」と口走る。これが予言活動の開始の合図だった。

1980 年公開の講演で、「ポーランド（共産党政権）に自由が来る。赤い旗が降ろされる」という発言、官憲に逮捕、精神異常者扱い、2025 年まで 45 年間の病院監禁生活の始まり。

1985 年日本語を学んだこともない教授が日本語で 300 ページに渡る記録を開始した。

2010 年日本人神父が秘密裏に面会：「貴方たちの先祖が語りかけてくる。日本は3段階で変化する。 精神的な覚醒、新しい指導者が現れる。 霊的な大覚醒、数百万人の日本人が同時に覚醒する。 革命的变化、世界初の魂を癒す「基幹産業・システム」が誕生する。2027 年までに国論が統一、大和合。「ベルリンの壁が一夜に崩れたような現象」と語る。

以下退院後の予言内容：3 か月以内に日本社会の価値観は完全に覆る。日本・東京は世界の精神的首都になる。日本語を学ぶ人が幾何級数的に増える。この変化の中心には 40 代～50 代前半の男性が現れる。有名人でも宗教家でも政治家でもない「白き光の人物」である。

8月15日精神的覚醒の開始（数万人が集まる場所（全国戦没者追悼式？）で誰かが倒れ、介護する彼の姿が感動を与える）、9月15日（敬老の日）霊的大覚醒、10月13日（体育の日）神聖な波動が世界に伝播、12月22日（冬至）一番暗い日に最も明るい光が誕生。

開放の鍵は心にある。許しが第一の鍵、自分を許し、他人を許し、過去を許す時、扉が開く。感謝が第二の鍵、苦痛にも感謝、試練にも感謝する時、新しい次元が開かれる。

病院を去る時の手紙（誰に渡すの？の声に対し）：「まだ生まれぬ日本の魂たちへ。愛する日本の友よ、あなた方は、選ばれたのではない、あなた方が選んだのだ。2600 年以上の歴史はこのための準備期間だった。幾多の戦乱を耐え抜いたことも、鎖国の孤独も、敗戦の痛みも災害も全て理由があった。大和民族は苦難の中で霊的綱（はがね）となったのだ。」